

質 松田小学校建て替えのための教育施設整備基金（14P参照）は、平成26年度に1億円となる。

質 消防団の詰所建て替えは、計画的に行うということであったが。
答 （庶務課） 寄地区の2ヶ所の詰所は新築しなければいけない。敷地が確保できれば建て替えを行うということで、地元にお願いしている。



松田小学校



寄口ウバイ園

予算審査特別委員会報告書(抜粋)

審査の内容

歳入は一括、歳出は各款項ごとに審査しました。歳入の根幹である町税は、景気が回復に向かっていることから僅かに増ととなっていますが、依然として地方交付税(14P参照)等に依存する一方で、財政調整基金の取崩しなどにより予算が編成されているため、厳しい財政状況となっています。

このようなかで、平成26年度一般会計予算の執行については、以下の項目に対し強く申し入れて賛成することとしました。

- (1)臨時財政対策債(14P参照)は地方交付税に措置されるので、活用について検討されたい。
- (2)町営住宅の再編整備を積極的に取り組まれたい。
- (3)松田小学校施設整備工事は、教育施設整備基金(14P参照)による今後の校舎建替(大規模改修)を考慮して執行されたい。

そ の 他

一方で、毎年修繕費に多額の予算が計上されている。建替計画と修繕計画の整合性は。

答 （教育課）

校舎の建て替えとは別に、子どもたちが学習するための教育環境を維持するため、必要な補修工事について計画的に予算計上していく。

太陽光発電施設を整備するが、災害時にはどの位の能力があるのか。

答 （環境経済課）

18時から翌朝の6時までの能力は10kW程度で、蛍光灯10灯を6時間、パソコン1台を4時間、携帯電話の充電や無線・テレビを4時間から6時間、蓄電池で対応できる。

けられるか調整し、最終的には指定管理者として運営していきたい。

どういうものかを調査研究している。

質 景観条例を制定する考えは。
答 （建設課）

景観条例を制定するには景観計画を策定し、その後、景観行政団体に移行すると同時に条例が制定できる。庁舎内職員を対象に景観に関する研修を実施している。松田町に合った景観条例は、

め、50名程にしたい。

質 自動改札機通過情報提供サービスの利用者は33名、費用対効果から実施する必要性があるのか。

答 （庶務課）

100名を目標に予算化したが3割程度であった。しかし、保護者には評判がいい。周知不足もあったので、新年度は小田急と連携し宣伝に努めている。

新たに計上された。設置する場所と台数と、撮影できる範囲は。

質 防犯カメラ賃借料がJR松田駅南口側の町道沿い電柱に、2台を共架する。撮影範囲は、小田急新松田駅北口から駅前広場周辺を、もう1台はロマンス通りの横浜銀行から富士急行操車場を予定している。